

一流の美術品を楽しんで 『石原コレクション』を常設展示



テープカットで『石原コレクション』のお披露目を祝う関係者

『石原コレクション』常設展示オープニングセレモニーが12月16日、観月台文化センターで行われました。

『石原コレクション』は、国見町と縁が深かった故石原蔵さんが収集していた美術・工芸品の一部を町に寄贈されたもので、絵画や彫刻、版画など30点が観月台文化センター内に常設展示されます。

セレモニーでは、関係者によるテープカットが行われ、来場者はお披露目された美しい作品の数々を楽しんでいました。



▶展示されたコレクションの1つ
『無題』
若林 功



宮城学院女子大学の若い音楽家たちの演奏会
コンサートに華を添える文化センターの花々

花と緑で来館者の心に癒しを
花いっぱいコンクールで知事賞に輝く

福島県民友新聞社、県協会、農林中央金庫福島支店が主催する第51回花いっぱいコンクールにおいて、観月台文化センターが最高賞の知事賞を受賞しました。

観月台文化センターでは、阿津賀志学級のグループ学習の一環として花いっぱい運動を推進し、センターを花と緑で彩り、緑化活動に貢献したことが評価され、知事賞を受賞しました。

岡崎忠昭教育長と阿津賀志学級担当の坂内明生社会教育指導員は12月19日、太田久雄町長に受賞を報告しました。坂内社会教育指導員は「震災で傷を負った心を花で癒したいという思いで取り組んできました。今後も花の良さをみなさんに伝えていきたいです」と、受賞の喜びを語りました。



▶太田町長に受賞を報告する岡崎教育長（右）と坂内社会教育指導員（中央）

ボランティア活動振興に尽力 国見町社会福祉協議会が会長表彰受賞



受賞を報告する八巻副会長（右）と佐藤副会長（右から3人目）

国見町社会福祉協議会は11月22日、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。

同協議会では、平成18年度からボランティアセンターを設置し、町内のボランティア活動の拡大と充実に努めています。同センター事業において、町内ボランティアが集う「ボランティアミーティング」を開催し、ボランティアのスキルアップや育成、交流を推進していることなどが「社会福祉協議会優良活動」として評価され、会長表彰を受賞しました。

同協議会の八巻忠一副会長と佐藤清二副会長は12月12日、山中啓嗣事務局長とともに国見町役場を訪れ、太田久雄町長に受賞を報告しました。

広域連携を強力に推進 福島圏域11市町村による協議会を新設



握手を交わす参画市町村の首長ら

参画の11市町村▶福島市、二本松市、伊達市、本宮市、宮城県白石市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村、山形県米沢市（オブザーバー）
福島圏域データ▶人口：約60万人、面積：約2,818km²

町と国見郵便局、福島東郵便局は11月27日、包括連携協定を締結しました。

締結式は国見町役場で行われ、太田久雄町長と木賀順一国見郵便局長、畠山智福島東郵便局長が協定書を交わしました。

協定は、国見町と国見郵便局、福島東郵便局が双方の資源を有効に活用し、日常の防災活動や大規模災害発生時の対応のほか、高齢者や障がい者、子どもの見守り、道路損傷や不法投棄の情報提供、ふるさと納税や特産品PRによる地域経済活性化などのさまざまな分野で互いに連携することで、地域の安全・安心の確保と住民サービスの向上を図ります。

地域の安全・安心を見守る 町と郵便局が包括連携協定を締結



協定書を交わす（左から）畠山局長、太田町長、木賀局長

ICTで地域の活性化を図る 町とKDDI株式会社が連携協定を締結



協定書を交わす太田町長（右）と松嶋総支社長（左）

町とKDDI株式会社は12月18日、県内市町村で初となる地域活性化連携協定を締結しました。

締結式は、国見町役場で行われ、太田久雄町長と松嶋伸一郎KDDI株式会社理事東北総支社長が協定書を交わしました。

協定は、株式会社KDDIのICT（情報通信技術）を活用することで、獣害対策の効率化に向けたシステムの構築や、町が進める交流・学びの場づくりプロジェクト「国見ホイスコーレ」におけるauタブレット端末の貸与やホームページ作成講座、翻訳サービスの提供などの支援の取り組みを推進し、地域の活性化を図ります。